



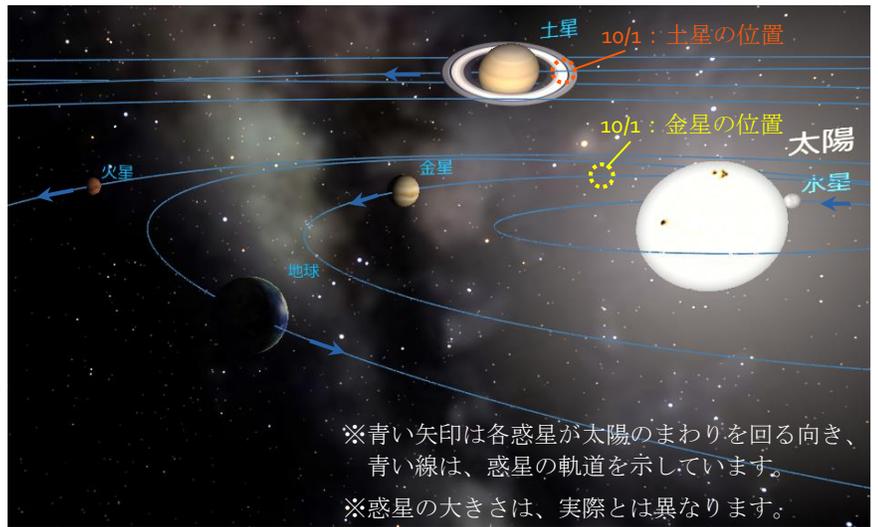
画像：探査機「マゼラン」が明らかにした金星表面の様子 NASA

2016年10月

よい みょうじょう「きんせい」 宵の明星「金星」と どせい せっきん 土星が接近！

発行：福岡県青少年科学館

金星は、地球からは太陽の近くに見えるので、夜中に見えることはありません。いちばん明るいときはマイナス4等級にもなり、「宵の明星」「明けの明星」と呼ばれています。太陽・金星・地球が、右図のような位置関係にあるとき、金星は日の入り後、東の空に見ることができます。このような金星を『宵の明星』と言います。地球の内側を回る金星と外側を回る土星が、地球の空で接近する様子を観察してみてはいかがでしょうか。



画像:10/30 18:45 太陽系惑星の位置関係 Mitaka Ver.1,3,1 で作成



画像:10/9 18:45~10/30 18:45 久留米市 南西の空 ステラナビゲータ ver.10 で作成

日を置いて観察してみよう。

10月初め、日の入り後の南西の空には土星が、西南西の低空には金星が見えています。土星と金星は、その後、徐々に近づき、30日には見かけの位置が約3度まで接近します。この日の前後数日間には宵の明星の金星と土星がかなり接近して見えます。日を置いて観察すると、2つの惑星が近づいていく様子を楽しむことができるでしょう。